# 【　調達物品に備えるべき技術的要件　】

## リアルタイム濁度測定装置

### 1．汎用分光光度分析装置については以下の要件を満たすこと。

1－1　測定原理、方法については以下の要件を満たすこと。
　1－1－1　核酸増幅法としてLAMP法を用い、リアルタイムで濁度を測定すること。

1－2　検体の処理能力については以下の要件を満たすこと。
　1－2－1　増幅ユニット1台あたり16検体の核酸増幅を35～60分間で判定できること。
　1－2－2　増幅ユニットの増設により96検体までの測定が可能であること。

1－3　検体測定については以下の要件を満たすこと。
　1－3－1　各種Loopamp試薬キット用の測定条件が予め設定されていること。
　1－3－2　一定温度でインキュベートすることで、遺伝子の増幅ができること。
　1－3－3　測定中でも他のユニットの条件設定ができ、追加測定できること。

1－4　操作性については以下の要件を満たすこと。
　1－4－1　　操作画面は7インチ以上のカラー液晶タッチパネルを有し、日本語対話方式で、
　　測定中の情報やチャンネル別のデータが確認できること。
　1－4－2　パーソナル遠心機を備えていること

### 2．テーブルトップ冷却遠心機については以下の要件を満たすこと。

2－1　国際安全規格IEC61010-2-020に準拠していること。

2－2　制御方式は、マイクロプロセッサ制御であること。

2－3　実回転を測定する為にチャンバ蓋上面にタコメーターポートがあり、
　GMPに対応でき、回転数が表示できること。

2－4　シーリングキャップ付バケットが使用可能であること。

2－5　サンプルの舞い上がり防止の為に、自然減速開始回転数が0～400rpmの範囲で
　変更できること。

2－6　5～10ml採血管、15ml ガラス管が1種類のバケットで遠心できること。

２－７　卓上遠心機であること。

３．その他については以下の要件を満たすこと。

３－１　代理店・メーカーによる緊急時の迅速対応が可能なバックアップ体制が整備されていること。

３－２　通常の使用条件で故障・不具合を生じた場合、納品後１年間は無償で補償を行うこと。

３－３　取扱説明書を２部渡すこと。